

職場からの闘いで実りある和解の獲得を！

～貨物和解報告集会を開催～



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山 芳夫
編集者 清水 孝次

2008年6月5日
第1454号

●国労加入を 大胆に訴えよう！

地方本部は6月2日、国労長野会館で国労本部から濱中書記長を招いて「J.R貨物係争事件和解成立報告集会」を開催した。貨物職場の組合員を中心に旅客の分会代表者を含め約60名が参加した。集会では、和解に至った経過とJ.R不採用問題との関係などの報告を濱中書記長から受け、率直な意見交換が行われた。

地本佐藤正幸書記長の司会で開会し、冒頭挨拶に立った平山芳夫委員長は「東日本本部では貨物和解の報告集会を2回開催し、長野地本も貨物職場の代表者が4月19日の集會に参加した。この和解を機に職場での差別を無くし、組織拡大にあたり、一日も早く採用差別事件の解決に向けての下地作りを進めて行く」

国労本部 濱中書記長が和解報告

「東日本で和解が成立して以降、長野地本では職場で和解を実感できるような運動を展開してきたが、新規採用と平成採用の女性社員の組織拡大につながった。貨物職場でも、この報告集會で意見を交換し、和解を胸に落として、つぎの運動へと展開していただきたい」と述べた。

つづいて、国労本部の濱中保彦書記長が和解について4点にわたり報告を行った。

- ① J.R不採用事件の解決に向けての環境作りを行ない、政府側の解決させないための四つの理由を排除し早期解決の環境を整える。
- ② 国労にまとめる力があるのか？ 「政・労」の問題でなく、「労・労」の問題との指摘に対し4者4団体を軸に裁判の当事者である4者を前面に出し闘いを進めている。
- ③ 政治による解決と言いつつながら裁判闘争をしている4者4団体は雇用・年金・成功を見れば一目瞭然。
- ④ 誰が窓口なのか？ 民主党の4名の議員が窓口で中心に座る。また、各野党の協力も従来通り。



貨物和解について報告する
濱中本部書記長

②風化論 22年目を迎え国民の理



挨拶する平山委員長



団結ガンバロウで閉会

解決金の三つの要求で意思統一をし政治解決を求めるもので裁判とは同時決着。

- ① 誰が窓口なのか？ 民主党の4名の議員が窓口で中心に座る。また、各野党の協力も従来通り。
- ② これらの環境作りに向け貨物の和解は大きな影響力をあたえる。
- ③ 貨物会社の経営者の中には「あと5年も経てば国労の影響が無くなるので和解しなくて良い」との意見もあったが、貨物会社のこのような労務管理が社会的に誤っていることを明らかにし、国労が存在している現在、公平・公正な人事運用を会社から勝ち取る。
- ④ 日貨労偏重にメスを入れ、「会社の倒産運動をす

この報告を受け9名の組合員から「この和解を受け国労の運動に変化があるのか」「確認書が足かせ、手かせとなるのでは」「現場長への申し入れの話は全国的にはどうなっているのか」「交渉で不備が出た場合などの戦術は」「本社前集會の今後は」「これからの運動に対する率直な意見が寄せられた。」

佐藤地本書記長は閉会にあたって、和解を足かせでなく、前を向いた闘いへの一歩とし、客貨一体となつて闘う決意を固め合った集會であった述べ、最後に平山委員長の団結ガンバロウで集會を閉じた。

◆退職の際は、鉄道退職者の会への加入を！◆

◎鉄道退職者の会 長野地方連合会
電話 026-226-6658

◆交運共済からのお知らせ◆

マイカー共済の新規加入を！
◎全国交運共済生協 長野事業部
電話 026-291-5057 JR:067-2583

